

小千谷市長選挙に伴う

政策提言型 公開討論会

とき : 2010年10月27日(水)

開場 : 午後6時30分

開会 : 午後7時00分

ところ : 小千谷市民会館 大ホール

住所 : 新潟県小千谷市土川1-3-3

TEL : 0258-82-9111(代)

主催 : (社)小千谷青年会議所

後援 : 公開討論会支援NGOリンカーン・フォーラム

ご来場の皆様へのお願い

- ご来場のみなさまには、次の事項をお守り下さいますようお願いいたします。
 - 立候補予定者の発言を妨げるような言動(ヤジ・私語など)は御遠慮下さい。
 - 開会時、閉会時及び司会者が促した時以外の拍手は御遠慮下さい。
 - 特定の立候補予定者の支持をイメージさせる行為(プラカードの掲示や宣伝活動、ハッピ・ハチマキなど)は御遠慮下さい。
- 討論会を円滑に運営するために、次の事項にご協力願います。
 - 原則として、開会後の入退室は閉会まで御遠慮下さい。
 - 客席からの立候補予定者への直接の質問等は一切御遠慮下さい。
 - 主催者が許可した場合を除いて、ホール内での写真・ビデオ等の撮影・録音は一切御遠慮下さい。
 - 携帯電話・PHS等のスイッチは予めお切り下さい。
- 上記1, 2の事項を守っていただけないために、討論会の運営に支障が生じると判断されるような場合、退場をお願いすることがあります。予めご了承願います。

本日のタイムスケジュール

- 開会(19:00)
- 主催者挨拶
- 討論会ルール説明
- コーディネーター及びパネリスト入場
- コーディネーター及びパネリスト紹介
- コーディネーター挨拶
- 討論開始
- コーディネーター及びパネリスト退場
- 閉会(21:00)

討論のテーマ

- I. 自己紹介・立候補した理由
- II. 小千谷市の現状と課題・克服すべき点
- III. 今すぐ最優先で取り組む課題
- IV. 産業振興について
- V. 社会福祉の充実について
- VI. 小千谷市のビジョンについて
- VII. 自己PR(自由スピーチ)

立候補予定者のプロフィール

(五十音順で表記しています)

佐藤 信幸 氏	生年月日	昭和24年3月12日	住所	小千谷市城内3-6-24
	職業	無職	最終学歴	県立長岡工業高校
略歴	1967年4月	日本電信電話公社(現NTT)入社		
	1976年9月	全電通長岡分会役員を歴任		
	1983年4月	長岡市議会議員に当選(2期)		
	1991年4月	新潟県議会議員に当選(1期、2期)		
	2003年4月	新潟県議会議員に当選(3期、4期)		
	2010年9月	新潟県議会議員5期目で辞職		

谷井 靖夫 氏	生年月日	昭和13年4月30日	住所	小千谷市大字両新田
	職業	小千谷市長	最終学歴	大阪大学大学院 電子工学修士課程
略歴	昭和39年4月～昭和63年2月	三洋電機(株)中央研究所や半導体事業本部で勤務		
	昭和63年3月～平成4年11月	韓国東京シリコン(株)社長(出向)		
	平成4年12月～平成7年9月	(株)LCDエンジニアリング社長(出向)		
	平成7年10月～平成12年3月	新潟三洋電子(株)社長		
	平成14年4月～平成18年10月	職業訓練法人信濃川テクノアカデミー 校長		
	平成18年11月～	小千谷市長		

コーディネーターのプロフィール

高橋 重尚 君	生年月日	昭和51年3月6日	住所	小千谷市土川
	職業	会社役員	最終学歴	成城大学法学部卒業
略歴	平成16年	社団法人小千谷青年会議所入会		
	平成18年	小千谷市社会教育委員就任(現在3期5年目)		
	平成20年	社団法人日本青年会議所新潟ブロック協議会タウンミーティング委員長 JC所属新潟県議のパネルディスカッション実行委員長兼コーディネーター 憲法タウンミーティング実行委員長兼コーディネーター 新潟県知事選挙政策提言型公開討論会実行委員長		

さとう 信幸 氏

I. 小千谷市政の現状認識・克服すべき課題

[現状認識]

財政は、小さくまとまり無難に維持されていますが、市政全体では将来に希望が持てず閉塞感が漂っています。市民の一人ひとりが、将来に希望を持ち元気や活力を出せるように、より一層の行動力、政治力が求められています。

II. すぐに行うべき重要政策(優先順に3点) 期限 財源

重要政策① 情報公開と行政改革の推進

情報公開と、行政改革の推進による開かれた市民参加型の市政を強力に進め、常に現場に赴き住民視点に立った市政を推進します。

期限 : 年 月以内 財源 :

重要政策② 地域医療体制の充実

小千谷総合病院と魚沼病院を統合した、新しい病院の早期建設・診療科目の充実など、市民が待ち望む真剣なニーズに対して地域医療を充実させるべく、決断と実行力、政治力を発揮します。

期限 : 年 月以内 財源 :

重要政策③ 地場産業の振興

価値ある地域資源を活用し、小千谷の持つブランド力を高め、輝く小千谷の情報発信と自らトップセールスマンとして国や県との強力なパイプを生かし、予算獲得に全力で取り組みます。

期限 : 年 月以内 財源 :

III. 4年間で行うべき重要政策(優先順に3点) 期限 財源

重要政策① 地場産業の活性化と雇用の確保

地場産業(農産物・加工食品・建設・工業・商業)の活性化と企業誘致で雇用の確保を図ります。小千谷の自然・食・農・文化等のブランド力を高め発信すると共に、観光客の誘致・振興を促進させ、交流人口の拡大や、定住人口を獲得します。

期限 : 年 月以内 財源 :

重要政策② 子供から大人まで、安心して住めるまちづくり

子供から高齢者まで、安心して住むことのできる小千谷づくりのため、子育て、教育、医療など福祉環境を充実させます。また、地域コミュニティの強化・活性化を図り、環境にやさしいまちづくり、災害に強いまちづくりを推進します。

期限 : 年 月以内 財源 :

重要政策③ 起業の創出と所得の増加

小千谷の自然・文化を活かしたグリーンツーリズムの推進や、中越大地震を教訓とする小千谷ならではの防災ツーリズムを促進します。また、新しい公共事業と意欲ある人の起業を創出し、支援することによって地域の生活基盤を整備し、所得の増加を図ります。

期限 : 年 月以内 財源 :

IV. 今後のビジョン・長期展望(小千谷市の目指すべき未来)

[長期展望(小千谷市の目指すべき未来)]

自立する小千谷の地場産業を更に活性化し、安心と誇りの持てるまちづくりを推進すると共に、少子高齢化に対応した子育て支援や教育の充実を図り、元気でキラリと輝く小千谷を目指します。

小千谷市長選挙公開討論会 政策提言シート

谷井靖夫 氏

I. 小千谷市政の現状認識・克服すべき課題

[現状認識]

小千谷市は合併せず、市としての主体性を保ちながら自立する道を選んだ。この場合、もっとも重要なことは、財政破綻をきたすことが無いよう、その健全性を堅持することである。住みよいまちを目指し、市民福祉施策や公共施設の充実・整備を図る一方、必要な財源確保をしっかりと行わなければならない。

II. すぐに行うべき重要政策(優先順に3点) 期限 財源

重要政策① 産業活性化と定住促進制度の拡充

三洋半導体製造株式会社の小千谷本社工場への集約計画や、市内企業活動の活性化に伴い、当市への定住者を増やす好機にある。従来からある定住促進家賃補助制度の拡充、更には、住宅新築補助制度の新設などを進め、市の人口減に歯止めを掛け、まちの活性化につなげる。

期限 : 23年 3月以内 財源 : 社会資本整備総合交付金など

重要政策② 安心・安全のまちづくり

小千谷総合病院と厚生連魚沼病院の統合による新病院設立と、この病院と市の保健行政を結合して市民の健康を護る施策を計画する。また、携帯電話やFM放送などを利用して、正確な防災情報が早く確実に個々の市民に届く最新鋭で効果的な手段の構築を計画する。

期限 : 23年 10月以内 財源 : ふるさと融資、特別交付税など

重要政策③ 小・中学校の整備

小・中学生の安全をまもるとともに、災害時の避難所確保のため、小・中学校建物の耐震化工事を進める。また、真人、岩沢、塩殿、川井小学校の複式授業を解消し、多人数の学校生活が経験できるよう、南中学校の空き教室を活用するとともに不足する機能を増築し、4小学校を統合した新たな小学校を作る。

期限 : 25年 3月以内 財源 : 国庫補助金、国庫負担金など

III. 4年間で行うべき重要政策(優先順に3点) 期限 財源

重要政策① 農業・商業・工業の振興

教育や福祉施策に必要な財源確保のため、あらゆる産業の振興は不可欠である。農業では集落営農活動などによる農業経営の合理化と、市場競争力の強化、商業では小千谷独自商品の開発と、ネットショッピングなどを利用する販路拡大、工業では世界市場に通じる新技術、新製品の開発などを支援する。

期限 : 年 月以内 財源 :

重要政策② 子育て支援・人材育成

放課後子ども教室の拡充、県立特別支援学校の誘致、小・中学生が広い視野としっかりした人生目標を持つよう、当市にあるさまざまな職業を見聞し、経験できるキャリア教育の推進、市民一人ひとりの力を高める社会教育の充実など、子育て支援・人材育成施策を推進する。

期限 : 年 月以内 財源 :

重要政策③ 社会福祉の充実

急速に増えつつある高齢者の人たちが、いつまでも健康で生きがいを感じる生活を送る事ができるよう、介護予防事業の充実、シルバー人材センターの活動支援などを行う。また、障がいのある人たちの福祉施策を充実する。

期限 : 年 月以内 財源 :

IV. 今後のビジョン・長期展望(小千谷市の目指すべき未来)

[長期展望(小千谷市の目指すべき未来)]

当市は規模としては小さな市であるが、後背地に恵まれ人や物の流れが集中する。この特徴を活かし、小千谷市総合計画に基づき、活力があり、便利で住みよい市の要件を一層充実発展させ、広域での生活拠点となるような市を目指す。

—MEMO—

投票に行こう！

小千谷市長選挙

■公開討論会とは

公開討論会は、衆議院・参議院議員選挙、知事選挙、市町村長選挙などの選挙に先立って、これらの選挙に立候補を予定している方々に参加していただき、国政、都政、地方行政の抱える問題点についての政策や具体的な解決策などを聞く会です。現行の公職選挙法では、選挙期間中に立候補者以外の第三者がこのような会を開くことが禁じられているため、選挙期間前に立候補を予定している方々にご参加いただき、政策を聞くという方法を採用しています。また、公開討論会の運営にあたっては、特定の立候補予定者や政党、特定の主義・主張に偏らないよう、中立・公正な運営を行っており、公開討論会にお越しいただいた方々に、より公正な情報を提供することを心がけています。討論の優劣を決めたり、丁々発止のやりとりを楽しむものではありませんのでご理解を宜しく願います。

投票日
11月14日(日)